

平成28年度 主な事務事業調

No. 99

事業名	舞鶴観光ブランドプロモーション戦略事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	29,000 千円			予算書	186 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	昨年の京都縦貫自動車道の全線開通や「引き揚げ」のユネスコ世界記憶遺産登録などを契機として、効果的かつ戦略的な観光プロモーションを実施することにより、外国人観光客も含めた交流人口の増大、観光産業による地域経済の活性化を目指す。					
	事業の内容	○戦略的誘客プロモーション ・教育旅行の誘致 引揚記念館での平和学習を中心に誘致プロモーションを実施 ・パブリシティプロモーション メディア記事掲載を目的にシティセールスを実施 ○インバウンド(外国人観光客誘致)の推進 ○舞鶴かに・かき等キャンペーン、まいづる地場産市場の開催 ○フィルムコミッション事業の推進 ・ロケ地を活用したツーリズムの推進による継続性のある観光誘客事業を実施 ○PRイベント出展				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	29,000				
担当課	観光商業 課		課長名	櫻井晃人		内線番号 1261

平成28年度 主な事務事業調

No. 100

事業名	舞鶴赤れんがパークブランドマネジメント事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	3,000 千円			予算書	186 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>指定管理者（舞鶴観光協会）を主体とする「舞鶴赤れんがパークブランドマネジメント会議」を市民サポーターや行政参画のもと設置し、発信力のあるソフト事業を一体的に展開することで、赤れんがパークが持つブランド力の向上と交流人口の増大に努める。</p>
事業の内容	<p>○新規ソフト事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> GWや夏休み等に、舞鶴の特徴を活かした産直市など、魅力あるソフト事業やPR事業を実施する。

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	3,000		

担当課	文化振興	課	課長名	石原 雅章	内線番号	1230
-----	------	---	-----	-------	------	------

事業名	着地型観光推進事業				
費目	款	商工費	項	商工費	目 観光振興費
事業費	28,469 千円			予 算 書	186 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的

平成28年度は赤れんがパークの観光戦略拠点化をより一層進め、地域資源を活かす「着地型観光」への取り組み、おもてなし体制の充実を図る。

さらに交流人口300万人を目指し、他市にないオンリーワンの魅力づくりが必要不可欠であり、赤れんがをはじめとする舞鶴固有の「海軍ゆかり」の資源を強く全国発信するとともに、引き揚げを体感する遊覧船の新ルートの開発等により、舞鶴ブランドの確立及び観光誘客・リピーターの増加を図る。

- 事業の内容
- 着地型観光の推進及び体制の充実
 - ・着地型観光商品の造成、情報発信
 - ・交流型ツーリズムの造成
 - 日本遺産登録を見据え、歴史遺産等をテーマとした地域間交流を促進するツーリズムを造成
 - ・観光案内所の運営
 - まいづる観光ステーション、東駅観光案内所
 - 海を活かした遊覧船事業
 - ・海軍ゆかりの港めぐり遊覧船の運航
 - ・引き揚げを体感する遊覧船ルートの開発【新規】
 - ・赤れんがパーク～伊根間遊覧船（夏季9日間）
 - 自衛隊と連携した地域資源の活用（東郷邸の一般公開等）

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	28,469		

担当課	観光商業	課	課長名	櫻井晃人	内線番号	1261
-----	------	---	-----	------	------	------

事業名	京都舞鶴港クルーズ推進事業				
費目	款	商工費	項	商工費	目 観光振興費
事業費	15,147 千円			予算書	186 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>本年、京都舞鶴港への大型クルーズ客船の寄港は過去最高の16回の入港が予定されている。とりわけ、コスタクルーズによる京都舞鶴港発着を含めた5泊6日周遊クルーズの10回の寄港とともに、ル・ソリアルなど3隻初寄港が予定され、クルーズ客船の拠点港としての新たな展開が期待されるなか、この好機を活かし、まち全体での歓迎ムードを作り、舞鶴の良さやクルーズ参加者の満足度を高め、寄港回数増加に繋げるとともに、京都舞鶴港を広く発信し、クルーズ船寄港による観光産業への波及と活性化に向け、京都府など関係機関と一体となってクルーズ客船の誘致に取り組む。</p>				
	事業内容	<p>○クルーズ客船の受け入れ コスタビクトリア (75千t) 10回 シー・プリンセス (77千t) 1回(初寄港) ル・ソリアル (11千t) 2回(初寄港) セレブリティミレニアム (91千t) 1回(初寄港) ぱしふいっくびいなす (26千t) 2回</p> <p>○おもてなし組織の活動支援 クルーズ寄港時の適切なおもてなし事業や観光消費の増加に向けた取り組みへの支援</p> <p>○誘致プロモーション</p>			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-			
	府支出金	4,200	みらい戦略一括交付金(1/2)	74	
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	10,947			
担当課	観光商業課 みなと振興・国際交流課		課長名	櫻井晃人 新宮敦雄	内線 1261 番号 1250

事業名	海の京都観光推進事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	8,075 千円			予算書	186 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	京都府北部5市2町と連携した「海の京都観光圏」において、「(仮称)海の京都DMO」を設立し、ブランド観光地域を目指す。本市においては、まちの魅力について歴史文化をキーワードにより深く掘り下げ、新たなストーリーを発見、紹介する通年型プログラム「(仮称)海の京都まち博～ハイカラまいづる～」を開催し、季節毎にその魅力を発信し、積極的な誘客事業を展開する。				
	事業の内容	○「(仮称)海の京都まち博 ～ハイカラまいづる～」の開催 ・期間：4月～11月末 ・赤れんがパークを拠点に集客した観光客をまち全体に拡大し、まち歩きやまち体験ツアーなどを実施 ・市内観光施設連携周遊策の実施（スタンプラリーの実施等） ・市内高校生によるおもてなし事業 ○海の京都観光推進協議会負担金 ○スポーツトレイル事業推進協議会負担金			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	
	国支出金	-			
	府支出金	1,000	みらい戦略一括交付金(1/2)		74
	地方債	-			
	その他	-			
一般財源		7,075			
担当課	観光商業	課	課長名	櫻井晃人	内線番号 1261

平成28年度 主な事務事業調

No. 104

事業名	周遊観光バス運行事業費補助					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	13,132 千円			予算書	186 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>公共交通の利用促進、点在する観光施設のネットワーク強化及び、観光地としての知名度の向上を目的として、舞鶴観光協会が実施する周遊バス運行事業に対し支援を行うもの。また、海軍ゆかり事業、着地型観光と連動した市内2次アクセスの充実を図り、広域からの観光客誘致に繋げるもの。</p> <p>来訪者の増加に伴い、より利便性の高いルートへの大幅な見直しを実施。東・西舞鶴駅を起点に来場者の多い赤れんがパークと引揚記念館、五老スカイタワーと舞鶴港とれとれセンターを中心に周遊するルートに変更。</p>			
	事業の内容	<p>○周遊観光バスの運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間 4月～11月、3月下旬の土・日・祝 ・内容 点在する観光施設を繋ぐ周遊バス (仮称) 東ループ7便、西ループ7便 <p>○かまぼこ手形の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間 4月～3月の毎日 ・内容 京都交通路線バス、観光周遊バス1日乗り放題 観光施設入館無料や各施設の特典、遊覧船半額、市営駐車場利用無料 <p>※実施主体：(一社) 舞鶴観光協会</p>		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
		国支出金	-	
	府支出金	6,500	みらい戦略一括交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	6,632		

担当課	観光商業課	課長名	櫻井晃人	内線番号	1261
-----	-------	-----	------	------	------

事業名	まいづる元気産業創出事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	13,748 千円			予算書	186 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>まちの将来を担う産業や企業の育成を目的として、市内中小企業の新たな取組みに対する支援や、工場適地以外の地域において新規雇用を伴う設備投資等への支援、雇用マッチング等を行うことにより、既存中小企業の生産性や経営体質の向上を図り、内発型産業振興による経済規模の拡大と雇用の創出を目指す。</p>			
	事業の内容	<p>① 内発型産業振興支援事業 市内企業の育成、地域産業の活性化を目的に、やる気のある市内経営者への寄り添い型支援を行う。また、若年者の市内企業への就職を促進するため、小中学生を含む子どもやその親世代に対し、イベント等の機会を活用し企業紹介等を行う。</p> <p>② 「まいづる元気産業情報センター」の運営 市内企業の事業内容を紹介する既存のウェブサイト「まいづる元気産業情報センター」に、求職者やUターン希望者などに対する雇用情報も追加し、市内企業の情報発信や国内外の各種情報の収集・発信とともに、市内企業と求職者との雇用マッチングを行う。</p> <p>③ ものづくり中小企業設備投資促進補助金 ・対象者：市内で製造業を営む中小企業(新規立地を含む) ・対象事業：1人以上の新規雇用を伴う製造設備の導入・更新 (2人以上の新規雇用で1/2以上が正社員の場合は上限額が1.5倍) ・対象経費：設備の購入費又はリース料 ・補助率等：10%(上限300万円) ※割賦購入・リースは年額の1/2(上限200万円)</p>		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	5,500	みらい戦略一括交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	8,248		

担当課	企業立地・雇用促進 課	課長名	有吉 央顕	内線番号	1212
-----	-------------	-----	-------	------	------

事業名	企業誘致実現プロジェクト事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	32,591 千円			予算書	186 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的
 本市の地域経済の活性化と雇用の拡大を図るため、市東京事務所等と連携し、工場適地等への企業誘致活動に積極的に取り組むとともに、既存の立地企業や市内の中小企業の新増設など発展的な事業継続に向けた支援を展開する。
 特に、昨年本市を取り巻く高速道路網が完成したことに加え、日韓ロ国際フェリー航路の開設に目途がついたことに伴い、京都府や京都舞鶴港振興会と連携し、製造業が集積する名古屋市周辺など中京圏をターゲットとした企業訪問を行う。

- 事業の内容
- ① 企業誘致開拓員配置事業【新規】
 - ・大都市圏に所在する企業への日常的な訪問による情報収集・情報発信を強化するため、中京圏において民間企業への業務委託による企業誘致開拓員を配置する。
 - ② 働く場の創出企業立地促進補助
 - ・働く場の創出補助金・・・継続企業分（予定） 2件（西港喜多地区港湾関連用地、舞鶴国際埠頭企業用地）
 - ③ 企業誘致推進対策事業
 - ・新たな立地企業の誘致のための情報収集、個別企業訪問の推進 等

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		32,591		

担当課	企業立地・雇用促進 課	課長名	有吉 央顕	内線番号	1212
-----	-------------	-----	-------	------	------

平成28年度 主な事務事業調

No. 107

事業名	新たな地域消費創造事業				
費目	款	商工費	項	商工費	目 商工振興費
事業費	7,373 千円			予算書	186 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	舞鶴商工会議所や金融機関等と連携し、新規創業の促進、活力ある事業者の育成や個店の魅力創出に積極的に支援を行うことで、新たな地域消費を生み出し、商業によるまちなかの賑わい創出、まちの安定的経済成長を図る。			
	事業の内容	<p><事業内容></p> <p>①創業おうえん奨励金（拡充） 日本政策公庫、北都信金の開業資金融資を受け創業する者に対し、奨励金を交付（補助率 開業借入資金 1.2%、3.0%）</p> <p>②がんばる事業者応援事業（新規） 事業者グループ等の取組・活動に対する専門家派遣、セミナー開催等</p> <p>③商店街で新規創業の場合、創業に係る費用を補助 店舗改修費用、設備・備品購入、広告宣伝費ほか （補助率：1/2 600千円限度）</p> <p>④観光産業育成支援事業費補助金 土産品開発や販路拡大に係る費用、ホームページ、パンフレット等の多言語化に係る費用ほか （補助率：1/2 200千円限度）</p>		
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)
	国支出金			
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	7,373		
担当課	観光商業課	課長名	櫻井 晃人	内線番号 1261

事業名	中小企業融資制度保証料補給金 中小企業融資制度貸付金					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	723,420 千円			予 算 書	188 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>市内中小企業の資金繰りの円滑化を図り、経営の安定化、事業展開等を促進するため、市独自の中小企業融資事業を実施する。 また、依然として厳しい経営環境にある市内中小企業の資金繰り負担を軽減し、経営改善等を図るため、融資期間を最長10年とする「中小企業経営改善特別融資（舞十年）」を継続するとともに、環境対策設備資金である「中小企業地球環境対策特別融資（舞グリーン）」を継続実施し、市内中小企業の省エネ対策、環境経営の取り組みを促進する。</p>				
	事業の内容	<p><主な実施制度概要> (1) 中小企業経営改善特別融資（舞十年） 融資期間：10年以内（基本制度：8年以内） 融資利率：年1.7%、融資限度額：1,500万円 資金使途：運転資金、保証料補給：2分の1 制度実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日 (2) 中小企業地球環境対策特別融資（舞グリーン） 融資期間：10年以内 融資利率：年1.6%、融資限度額：2,000万円 資金使途：環境への負荷低減を図るための設備導入資金 保証料補給：2分の1</p>			
事業費の内訳		<p><事業費内訳> (1) 中小企業融資制度貸付金 700,000千円 (2) 中小企業融資制度保証料補給金 23,420千円</p>			
	財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	700,000	中小企業資金融資制度貸付金収入		94
	一般財源	23,420			
担当課	観光商業課	課長名	櫻井 晃人	内線番号	1261

事業名	国際交流活動推進事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	25,274 千円			予算書	188 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	姉妹都市や友好都市等とのネットワークのさらなる充実に努めるとともに、市民が主体となる国際交流事業の推進に取り組む。			
事業の内容	1. 国際交流員配置 2. ナホトカ市との青少年スポーツ交流 3. 大連市との青少年交流 4. 大連市とのスポーツ交流 5. ポーツマス市訪問青少年英語研修 6. 浦項市との人的交流 7. 各種代表団受入・派遣 8. 舞鶴・ナホトカ市姉妹都市提携55周年記念事業 9. 市民の国際交流活動に対する支援 10. 国際交流活動年次報告書の発行			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	9,100	みらい戦略一括交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	16,174		

担当課	みなと振興・国際交流課	課長名	新宮 敦雄	内線番号	1250
-----	-------------	-----	-------	------	------

事業名	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	37,310 千円			予算書	188 頁	
				事業区分	新規・拡大 継続	

事業の目的	日本海側拠点港の選定を受けたそれぞれの機能（国際フェリー・国際RORO船、国際海上コンテナ、外航クルーズ）について、目標の早期実現に向け、国・府・近隣市や関係団体等と連携し、名実ともに京都舞鶴港が日本海側の拠点港として確立されるよう、利用促進に取り組む。（京都舞鶴港振興会への補助）				
	事業の内容	◆ 国際フェリー航路の開拓 ・ 航路開設に係る荷主開拓のための日韓共同プロモーション			
◆ 国際クルーズの誘致 ・ 小樽港、伏木富山港、境港、秋田港との連携による「環日本海クルーズ推進協議会」への参画 ・ 「京都舞鶴港クルーズ誘致推進協議会」によるクルーズ船の誘致 ・ 旅行社等と連携した新規観光ルートの開発					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	37,310			
担当課		みなと振興・国際交流課		課長名	新宮 敦雄
				内線番号	1250

事業名	京都舞鶴港振興会等補助					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	111,671 千円			予算書	188 頁	
				事業区分	新規・拡大 継続	

事業の目的	日本海側拠点港の選定を受けた京都舞鶴港を関西経済圏における日本海側の物流拠点とするため、総合的な貿易振興策を講じる。			
	京都舞鶴港の一層の貿易振興を図るため、既存航路の活性化、新規航路の開設、集荷対策等を積極的に推進する。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・集荷要請等のポートセールス ・セミナー開催等のPR活動 ・貿易情報の収集及び調査 ・北東アジア諸国等との友好・経済交流の促進 ・航路の拡充およびトライアル利用の促進 ・コンテナ貨物、バルク貨物に対するインセンティブ補助 			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債			
	その他	-		
一般財源		111,671		
担当課		みなと振興・国際交流課	課長名	新宮 敦雄
			内線番号	1250